

# 水草研究会会報

No. 7 March 1982

## 尾瀬沼にコカナダモ侵入

星 一 彰

(福島東高校、県尾瀬保護指導委員)

尾瀬沼の水生植物については、かなりくわしい報告があり、その分布図なども作成されている(星、1981年)。しかし、特に深水性のものは観察するのに困難を極める。

1981年5月3日尾瀬沼は、水面が約2mも低下しており残雪におおわれていた。大江川からの流入水で深水性の水生植物が残雪で水底におしつけられていた。

分布が確認されているシャジクモらしき植物をよく調査してみると三輪性の葉を持ったコカナダモであった。

琵琶湖でのこの植物の分布拡大は、すごい勢いであったという。尾瀬沼の場合は、冷涼地でもあり、その分布拡大は心配ないものと思われるが、山小屋よりの汚水が富栄養化に拍車をかけることになるのではないかと恐れる。

あまり紹介されていない雪の尾瀬沼とコカナダモ侵入の事実を報告する。

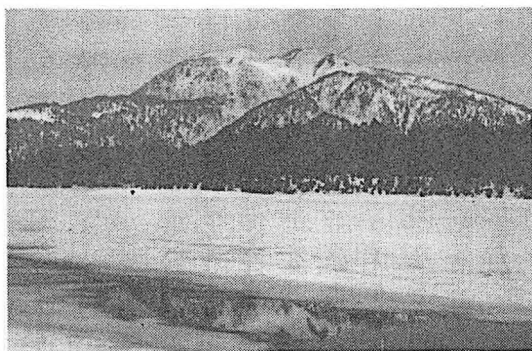


写真1. 水面の低下した尾瀬沼

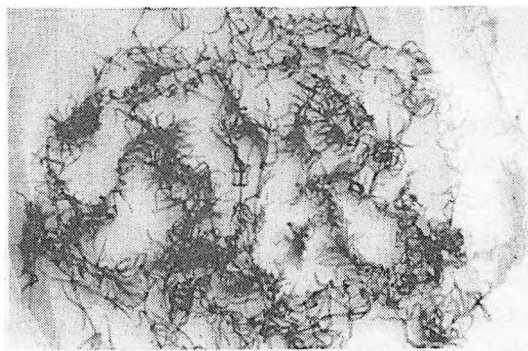


写真2. 尾瀬沼に侵入したコカナダモ

第4回全国集会は8月7～8日に、倉敷で行なわれます。(16ページ参照)